

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
ウィズ（放課後等デイサービス）		令和7年 3月 10日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	☐		利用定員に対し適切なスペースの確保ができている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	☐		適正な人員以上の職員を配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	☐		1日の予定をイラスト・写真で提示する・自分で作成する等、構造化された環境になっている。バリアフリー構造になっており、車いす等の利用者への配慮ができている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	☐		衛生面に気をつけながら、環境面を設定できている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	☐		クールダウンを図りたい時や静かに過ごしたい時は、個別の部屋や場所へ案内・誘導している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	☐		定期的にミーティングを実施し、共有できている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	☐		定期的にアンケートを実施し、業務改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	☐		定期的に面談やアンケートを実施し、共有できている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		☐	社会保険労務士や、外部コンサルタントと連携し、評価を基に業務改善を行っている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	☐		法人内での定期的な研修の実施及び外部研修の受講機会を設けている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	☐		5領域との関連性を明確にした支援プログラムを作成し、ホームページにて公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	☐		アセスメントシートを活用し、適切に計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	☐		ミーティング等で職員から聞き取りを行い、相談した上で計画を作成している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	☐		定期的にミーティング等で共有し、計画に沿った支援を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	☐		知能検査や発達検査の結果、普段の関わりで見られる様子から、適応行動の状況を確認している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	☐		個別支援計画に必要な支援項目を設け、具体的な支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	☐		定期的にミーティングを行い、活動プログラムの立案を行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	☐		季節に合わせた行事などを取り入れ、活動プログラムを工夫している。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	☐		子どもの状況や保護者のニーズに合わせて計画を作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	☐		情報を確認し合い、支援内容等打ち合わせを実施し、支援を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	☐		支援終了後に振り返りを行い、情報共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	☐		サービス提供記録を記入し、支援に活用している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	☐		定期的にモニタリングを実施し、計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	☐		4つの基本活動に沿った活動内容や支援を組み合わせ支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	☐		行きたい場所ややりたいことを話し合って決めるなど、自己選択・自己決定する力を育てるための支援を行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	☐		適切な職員が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	☐		連携して支援を行う体制を整えており、必要に応じて情報共有などを行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	☐		年間行事や下校時刻を学校に直接確認したり、送迎時に子どもの学校での様子の聞き取りを行うなど、情報共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	☐		連携して支援を行う体制を整えており、個人情報に留意しながら、必要に応じて情報共有などを行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	☐		連携して支援を行う体制を整えており、個人情報に留意しながら、必要に応じて情報共有などを行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	☐		定期的に連携を取っており、意見交換を行っている。研修受講の機会を設けている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		☐	地域のお子様と交流できる機会を検討する。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	☐		積極的に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	☐		送迎時に子どもの様子を保護者と伝え合い、情報共有を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	☐		家庭での支援について助言や提案を行っている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	☐		契約時に説明を行っている。問い合わせがあればその都度説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	☐		定期的に面談等を実施し、子どもや家族の意向を確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	☐		計画内容を共有する際に説明し、同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	☐		子育ての悩み等の相談にも適切に応じており、必要に応じて面談を実施している。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	☐		地域意見交換会を実施しており、保護者同士での交流の場を設けている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	☐		苦情、相談受付に関する体制を整備し、迅速かつ適切に対応している。必要に応じてミーティングを実施し、再発防止に努めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	☐		定期的にスケジュール表を作成し配布している。ホームページにて定期的にブログの更新を行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	☐		保護者に同意書をもらい、取り扱いには十分注意している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	☐		それぞれの子供に合わせた伝え方を考えながら情報伝達を行っている。会話以外に連絡帳での情報交換も行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	☐		地域意見交換会を実施している。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	☐		各種マニュアルを作成し、職員や保護者に周知している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	☐		BCPを策定し、年2回避難訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	☐		アセスメントを行い、必要に応じて、契約時に個別対応シートの作成を行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	☐		アセスメントを行い、必要に応じて、契約時に医師の指示書に基いた個別対応シートの作成を行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	☐		安全計画の作成、研修の受講、事業所内での必要な措置に関する共有を行った上で支援を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	☐		契約時に説明を行っている。問い合わせがあればその都度説明を行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	☐		ヒヤリハット報告書を作成し、必要に応じてミーティングで共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	☐		委員会の設置や定期的に法人内での研修会、外部研修の機会を確保している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	☐		事前に保護者に説明し、同意を得た上で支援計画や身体拘束の記録に記載している。	